

1. 学歴

- 1980年 3月 一橋大学経済学部卒業
1980年 4月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学
1982年 3月 同修了
1982年 9月 ミネソタ大学大学院経済学科博士課程入学
1989年 12月 同修了(Ph.D. in Economics)

2. 職歴・研究歴

- 1989年 4月 日本輸出入銀行(1991年3月まで)
1991年 3月 一橋大学経済学部専任講師(1994年3月まで)
1994年 4月 一橋大学経済学部助教授(1999年12月まで)
2000年 1月 一橋大学大学院経済学研究科教授
2000年 4月 一橋大学経済研究所経済制度研究センター教授(兼任)
2002年 4月 一橋大学国際共同研究センター教授(兼任)

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

経済学入門, 基礎マクロ経済学, 開発経済学

(b) 大学院

国際経済開発論, 国際経済開発論

B. ゼミナール

学部前期, 学部後期, 大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

学部講義「開発経済学」は、理論的なアプローチに重点を置き、実物面だけでなく金融面のトピックスも重視していることが講義の特色といえる。大学院講義「国際経済開発論Ⅰ」「国際経済開発論Ⅱ」では、重要文献の解説と最近の研究動向の紹介を行う。学部・大学院ともに教場試験を実施して公平な成績評価に努めている。

学部ゼミナールでは、3年次に開発金融理論のテキストを精読する。4年次には「自分で仮説を設定しその検証を行う」という方針で卒業論文を作成し、論理的思考能力を鍛えることを目指している。

大学院ゼミナールは、論文の作成指導が中心である。修士論文の指導では基礎力を養うことを重視している。博士論文の指導では、ワークショップとの連携を図りつつ、専門学術誌に掲載可能な論文を目標としている。また研究に不可欠な現地調査のノウハウを習得できるように、学生が海外調査に参加できる機会を積極的に提供している。

4. 主な研究テーマ

(1) ASEAN 諸国の経済発展と金融システム

経済発展に対して金融が果たす役割について、東南アジア各国を事例として総合的に検討することを目指している。『ASEAN の金融システム』東洋経済新報社(2000)、およびその研究者・実務家向け解説版にあたる『開発金融論』日本評論社(2006)などに纏められている。

(2) ASEAN 諸国の銀行業の計量分析

途上国金融部門の中核的プレーヤーである銀行について、ASEAN 諸国の銀行の経営特性を明らかにし、グローバル化した世界経済における途上国銀行部門の市場構造について政策的な検討を加えることを目的としている。ASEAN 各国についての実証研究を、学会誌に発表してきた。

(3) ASEAN 諸国の企業金融と投資行動

ASEAN 諸国における企業の金融活動について、途上国特有の金融行動の特徴を検討し、政策課題を明らかにすることを目的としている。フィリピン、インドネシアの企業資本構造の実証研究を進めている。

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

『入門開発金融 -理論と政策-』(共編著) 日本評論社, 1998年, 258頁。

『ASEAN の金融システム: 直接投資と開発金融』(単著) 東洋経済新報社, 2000年, 312頁。

『開発金融論』(共著) 日本評論社, 2006年, 242頁。

(b) 論文(査読つき論文には*)

* "Financial Factors in Economic Development: A Case Study of the Financial Liberalization Policy in the Philippines," *The Developing Economies*, Vol.28 (No.3), September 1990, pp240-270.

「日本型ツー・ステップ・ローン: 世銀アプローチと日本アプローチ」山澤逸平・平田章編 『金融危機と金融規制』(研究双書 No.422), アジア経済研究所, 1992年9月, 85-105頁。

"Demand for Financial Assets in the Philippines in the 1980s: The Impact of Liberalization to Date and Future Issues," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol.33 (No.2), December 1992, pp183-195.

"The Changing Pattern of International Capital Flows in NIEs and ASEAN Countries," 『フィナンシャル・レビュー』大蔵省財政金融研究所, 第29号, 1993年6月, 18-45頁。

"Inflation Tax and Capital Flight in An Overlapping Generations Model," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol.34 (No.2), December 1993, pp 165-176.

* 「金融自由化政策と経済発展 -フィリピンとタイの比較研究-」 『アジア経済』 第34巻 (第6号), 1993年6月, 2-20頁。

* 「金融: 東南アジアの金融的発展」 『アジア経済』 第36巻 (第8号), 1995年8月, 53-63頁。

* 「タイの金融自由化過程における銀行業の生産・費用構造の変化」(三重野文晴との共同論文) 『アジア経済』 第38巻 (第6号), 1997年6月, 2-25頁。

「フィリピン -銀行部門の経営危機とその処理プロセス-」 渡辺慎一編 『金融危機と金融規制』(研究双書 No.485), アジア経済研究所, 1998年3月, 139-177頁。

"What Happened to Thai Commercial Banks in the Pre-Asian Crisis Period: Microeconomic Analysis of Thai Banking Industry," (joint paper with Fumiharu Mieno) *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol.40 (No.2), December 1999,

pp.97-122.

「フィリピン金融自由化政策の20年」見誠良編『アジアの金融危機とシステム改革』法政大学出版局, 2000年9月, 283-316頁。

"The Production Technology of Philippine Domestic Commercial Banks in the Pre-Asian Crisis Period: Estimation of Cost Function in the Period of 1990-1996," (joint paper with Jun Saito) *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 42 (No.2), December 2001, pp.81-102.

「ASEANの持続的経済成長と金融改革」浦田秀次郎・小浜裕久編『東アジアの持続的経済発展』勁草書房, 2001年, 283-316頁。

* 「マレーシア商業銀行の確率的費用関数の推計と銀行再編への政策的なインプリケーション」(橋本英俊・村上美智子との共同論文)『アジア経済』第44巻, 2003年10月, 369-396頁。

「フィリピン製造業のコーポレートガバナンスと負債の役割: 企業属性による違いとアジア危機の影響の検証」(齋藤純との共同論文) 寺西重郎・花崎編著『コーポレートガバナンスの経済学』東京大学出版会, 2003年10月, 369-396頁。

「外国銀行の進出と途上国の経済発展: アジア研究に向けた論点整理の試み」国宗浩三・久保公二編『グローバル化と途上国の金融問題』(研究双書 No.536), アジア経済研究所, 2004年1月, 137-165頁。

「東南アジアの金融発展: 開発金融パラダイムの変化と多様性」(三重野文晴との共同論文)『国際協力論集』神戸大学大学院国際協力研究科, 第12巻, 第1号, 2004年8月, 57-84頁。

* "Estimation of Cost Functions of Malaysian Commercial Banks: The Differential Effects of Size, Location, and Ownership," (joint paper with Hidetoshi Hashimoto) *The Asian Economic Journal*, Vol.18 (No.3), September 2004, pp.233-260.

* "Comparative Cost Study of Foreign and Thai Domestic Banks 1990-2002: Estimating Cost Functions of the Thai Banking Industry," (joint paper with Suvadee Rungsomboon) *Journal of Asian Economics*, Vol. 17 (No.4), August 2006, pp.714-737.

* "The Effects of Foreign Bank Entry on Thai Banking Markets: Estimation Analysis over the Period of 1990-2002," (joint paper with Suvadee Rungsomboon) *Review of Pacific Basin Financial Markets and Policies* (forthcoming).

(c) 翻訳

ポール・P・ストリーテン「発展途上国に対する産業調整のインプリケーション」山澤逸平・平田章編『先進諸国の産業調整と発展途上国』(研究双書 No.410), アジア経済研究所, 1991年, 226-245頁。

(d) その他

「東南アジアの金融システムと改革の方向性」『国際問題』国際問題研究所, No.506, 2002年5月, 37-51頁。

「エージェンシー・コスト・アプローチによるフィリピン企業の資金調達構造の分析」(齋藤純との共同論文)『開発金融研究所報』国際協力銀行開発金融研究所, 第16号, 2003年6月, 111-133頁。

「外国銀行の進出とタイ銀行業への影響: アンケート調査結果と経営指標の分析」『開発金融研究所報』国際協力銀行開発金融研究所, 第19号, 2004年6月, 52-80頁。

「エージェンシー・コスト・アプローチによるフィリピン企業の資金調達構造の分析」(齋藤純との共同論文)『開発金融研究所報』国際協力銀行開発金融研究所, 第16号, 2003年6月, pp.111-133。

「外国銀行の進出とタイ銀行業への影響: アンケート調査結果と経営指標の分析」『開発金融研究所報』国際協力銀行開発金融研究所, 第19号, 2004年6月, pp.52-80。

「発展中国開発金融系統和外国銀行的作用」楊棟梁主編『東亜区域經濟合作的現状與課題』天津：天津人民出版社，2004年12月，pp.241-256。

"The Effects of Foreign Bank Entry on Thai Banking Markets: Estimation Analysis over the Period of 1990-2002," (joint paper with Suvadee Rungsomboon) *CEI Working Paper Series* No. 2004-20, Center for Economic Institutes, Hitotsubashi University, March 2005.

「アジア危機後の経済改革とインドネシア上場企業の資金調達構造」(竹康至との共同論文)『開発金融研究所報』国際協力銀行開発金融研究所，2005年7月，pp.109-135。

"Economic Reforms and Financing Structure of Indonesian Listed Companies after the Asian Crisis: Corporate Finance Issues and the Solutions," (joint paper with Yasushi Take) *JBIC Review* (Japan Bank for International Cooperation), No.12, 2005, pp.1-31.

「外国銀行の進出とASEAN銀行業への影響：タイ実証研究の示唆するもの」(スワディ・ルンソンブーンとの共同論文)伊藤隆敏・財務省財政総合研究所編著『中国の台頭と東アジアの金融市場』所収，日本評論社，2006年6月，pp.103-119。

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表

「ASEAN 諸国における地場銀行業の比較計量分析：銀行再編への政策的インプリケーション」，日本国際経済学会，2002年10月。

「フィリピンのコーポレートガバナンス構造と資金調達行動」，アジア政経学会，2002年10月。

「マレーシア商業銀行の金融自由化過程における銀行業の生産・費用構造の変化」，日本金融学会，2002年11月。

"The Production Technology of Malaysian Domestic Banks: Estimation of Their Cost Functions," The 8th Convention of the East Asian Economic Association, November 2002.

"The Effects of Foreign Bank Entry on Thai Banking Market: Estimation Analysis over the Period of 1990-2002," 日本金融学会，2004年9月

"Comparative Cost Study of Foreign and Thai Domestic Banks in 1990-2002: Estimating Cost Functions of Thai Banking Industry," The 9th International Convention of the East Asian Economic Association, November 2004.

「東南アジアの金融発展：開発金融パラダイムの変化と多様性」(三重野文晴との共同報告)，日本金融学会，2005年5月。

"Economic Reforms and Financing Structure of Indonesian Listed Companies after the Asian Crisis: Corporate Finance Issues and the Solutions," (joint paper with Yasushi Take), LPEM-Indonesia University and Japan Bank for International Cooperation joint seminar on "Enhancing Indonesia's Competitiveness: Meeting the Challenges for Industrial Development," September 2005.

「アジア危機前後でのインドネシア上場企業の資金調達構造の変化：金融改革は企業行動に影響を与えたか？」(竹康至との共同報告)，日本金融学会，2006年4月。

"How Indonesian Companies Changed Their Financing Behaviors after Economic Reforms following the Asian Crisis? : Estimating Capital Structure of Listed Companies during the Period 1994-2005," (joint paper with Yasushi Take), The 10th International Convention of the East Asian Economic Association, November 2006.

(b) 国内研究プロジェクト

「外国銀行の進出とASEAN 銀行業への影響:タイとフィリピンの比較分析」国際東アジア研究センター公募受託研究プロジェクト, 2003 年度, 研究代表者

「外国銀行の進出とタイ銀行業への影響:マイクロ・データによる計量経済分析」文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C)(2), 2003-2004 年度, 研究代表者

6. 学内行政

(b) 学内委員会

アジア・太平洋との国際交流専門委員会委員(1996 年 4 月-2004 年 3 月)

学生国際交流専門委員会委員(1998 年 4 月-2004 年 3 月)

国際交流委員会委員(2004 年 4 月-)

大学院教育専門委員(2006 年 4 月-)

7. 学外活動

(a) 他大学講師等

早稲田大学社会科学部非常勤講師(社会科学総合研究, マクロ経済学, 専門演習), 2000-2004 年度

青山学院大学国際政治経済学部, 非常勤講師, 国際金融論, 2005 年度-2006 年度

神戸大学大学院国際協力研究科, 開発金融論, 2006 年度(集中講義)

(b) 参加学会および学術活動

The East Asian Economic Association(2005 年より学会誌 Associate editor)

アジア政経学会

日本金融学会

日本経済学会

(d) その他

世界銀行国際遠隔研修(Content Production for the Global Development Learning Network)講師, 2002 年 11 月。

国際協力事業団「ラオス金融研修」講師(短期専門家派遣), 2003 年 2 月。

財務省財務総合政策研究所「財政経済長期セミナー:開発と金融」講師, 2003 年 5 月。

外務省開発セミナー(経済協力局職員短期研修)講師, 2003 年 8 月。

日本政策投資銀行「市場体制移行国研修」講師, 2004 年 1 月。

国際協力機構「金融分野研修コンテンツ開発委員会」委員, 2006 年 10 月。

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

財務省「関税・外国為替等審議会」専門委員(2001 年 9 月-2006 年 6 月)

国際協力銀行開発金融研究所, 客員研究員(1999 年 10 月-2006 年 11 月)

9. 一般的言論活動

「グローバル化と開発金融」『経済セミナー』日本評論社, 2002 年 4 月号から 2003 年 3 月号まで連載。

学問への招待:「外国銀行の進出と途上国の経済発展」を考える『一橋論叢』, 第 125 卷(第 4 号), 2003 年 4 月。